

まちの話 だい

7月10日 | 南国からおいしい贈り物

台湾政府から市へ特産のバナナが贈られ、大津小学校で贈呈式が行われました。

仲介をしたのは、市内企業の有志グループ「次世代のつどい おおるり」。グループ代表の山崎氏（株式会社ケンコー）から、6年2組の児童へバナナが手渡された後、給食とともに試食。子どもたちは、かつて高級品といわれた台湾バナナのおいしさを再発見し、顔をほころばせていました。



7月26日 | 平和への想いを忘れない

原爆の「模擬爆弾」投下による犠牲者を慰霊する「島田空襲被爆者慰霊のつどい」が扇町公園で行われ、遺族など関係者約150人が出席しました。

犠牲者に黙とうをささげた後、扇町在住の3人の代表者が、それぞれ平和の誓いを朗読。山内梨緒さん（島田第二小）は「今何不自由なく生活していることに感謝し、周りへの思いやりを忘れずに生きていきたい」と平和の尊さを述べました。

トピックス

「夏休み交通安全宣言書」を提出



市内全小学校から、市・島田警察署・交通安全協会島田地区支部へ「夏休み交通安全宣言書」が提出されました。

代表の（写真左から）池田有亜さん（六合東小6年）・住田優さん（神座小6年）・大塚葉月さん（初倉南小6年）は「道路を横断するときは、必ず左右の確認をする」など、宣言書を大きな声で読み上げました。吉田島田警察署長は「交通ルールをしっかりと守り、元気に新学期を迎えてください」とあいさつしました。





7月14日 | 能面から学ぶ日本文化

姉妹都市の米国カリフォルニア州リッチモンド市から、5人の友好親善使節が来島（6月24日～7月24日）。小中学校の訪問やさまざまな日本文化、英会話教室を体験しました。

面打師である大塚亮治さん宅で行われた「能面体験」では、人物や感情を表す面に感心した一行。コミカルな表情や生き物を表した面を着けるなどして、日本文化に親しんでいました。

7月3日 | ロボットの反応に笑顔

川根文化センターチャリム 21 で、人型ロボット「Pepper」のプログラミング講座が開かれました。

市内の産官学で組織する「島田 ICT コンソーシアム」の呼び掛けに、川根地区の小学生 15 人が参加。アシスタント役の島田工業高校の生徒と協力し、試行錯誤しながら各班独自のプログラムを完成させました。ペッパーが自分たちの思い通りに動くと、会場からは歓声が上がりました。



7月17日 | 市内各所で進む緑茶化

7月17日から23日にかけて、市内塗装業者の有志7人が、市役所本庁舎の駐車場管理棟と駐輪場を「緑茶グリーン」で塗装しました。

この活動は、市のシティプロモーション「島田市緑茶化計画」に賛同した皆さんが「お茶のまち島田」をPRするため、ボランティアで実施したものです。市では引き続き、市民の皆さんと共に、さまざまな緑茶化を推進していきます。